

## 令和元(2019)年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	薬用資源植物の化学的多様性のゲノム起源
研究代表者	齊藤 和季 (理化学研究所・環境資源科学研究センター・副センター長) ※令和元(2019)年7月末現在
研究期間	令和元(2019)年度～令和5(2023)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p>本研究は、薬用資源植物の化学的多様性のゲノム起源を解明することを目的として、トランスクリプトーム／メタボローム／ゲノムワイドアソシエーション解析等を駆使した機能解析を行い、有効化学成分の生合成や蓄積の仕組みを明らかにしようとするものである。</p> <p>薬用資源植物の持続的利用を見据えた研究であり、合成生物学や品種選抜への応用も考慮していることに学術的及び社会的意義がある。甘草を中心とした研究計画であるが、甘草以外の重要薬用植物についても、応用・実装的展開が期待される。</p>